

議 長	事務局長	次 長	総務係長	書 記

委 員 会 記 録 簿

(閉会中)

委員会名	第6回 総務文教常任委員会			
開会日時	令和3年11月10日		13時30分	開会
	令和3年11月10日		15時52分	閉会
場 所	第1委員会室			
出席者数	委員定数8名中、出席者8名			
出席委員	山根 温子	武岡 隆文	—	
	南澤 克彦	山本 数博	新田 和明	
	先川 和幸	山本 優	宍戸 邦夫	
欠席委員	—	—	—	
説明のため 出席したもの	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—
出席した 事務局職員	議 会 事 務 局 長	森岡 雅昭	総 務 係 主 査	日野 貴恵
			—	—
付議事件	(別紙のとおり)			

1. 日程

別紙会議日程のとおり

2. 会議に付した事件

(1) 陳情・要望等審査

- ① コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

(2) 所管事務調査【教育委員会関係】

- ① 生涯学習施設に関すること

### 3. 議事の経過

#### 【開会 9:00】

○山根委員長	<p>ただいまの出席委員は8名である。定足数に達しているので、これより、第6回総務文教常任委員会を開会する。</p> <p>本日の日程は、手元に配付しているとおり陳情要望等審査1件と、1件の所管事務調査を行う。</p>
--------	---

#### 陳情・要望等審査

##### (1) コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

○山根委員長	<p>陳情要望等の審査に入る。</p> <p>「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について」の件を議題とする。陳情書の内容について、事務局より説明させる。</p>
--------	--

○森岡事務局長	<p>この件は、前回の9月定例会に審査を行っている。審査の中で、6月定例会で提出した「行財政の充実強化」との意見書の絡みもあるが、新たに出てきた課題もある。全国市議会議長会の趣旨に沿ったような形で中身について協議したが、本市議会として今回の定例会の中で、その中身について書かれている内容のことが本市の市民にどのような影響が出てくるか、影響額についてさらに調査する必要があるということで、継続審査としていた。今回委員会を開いて再度提案する形になったが、事務局で本市の市民に対する影響額の調査が最終的にまだ出来ていない状況である。検討する材料が整ってなかったので大変申し訳ない。</p>
---------	---

これまでのところ、県内でこの意見書に対してどういった取組をしているか調査をしている。A4の横の資料を配付しているが、県内の状況についてはこのような状況である。前回9月2日時点の検討状況は、広島市・福山市・三原市・府中市・呉市は、検討中であった。それから尾道市・竹原市・江田島市は9月定例会で提出を予定だったが、検討中としていた広島市・福山市・三原市・府中市・呉市については、9月の定例会で意見書提出の可決をして提出している。それから尾道市・竹原市・江田島市については提出予定だったが、9月定例会で意見書を提出している。その他、三次市・庄原市・大竹市・東広島市は、9月の調査時点で提出しないということで、最終的な確認でも9月定例会では提出をしていない。

そういった状況で、裏面を見ていただくとうような結果となっている。提出されたのが8市、それから予定なしが4市、地方財政とあわせて提出したのが1市で、本市は継続審査という形となっている。状況については以上である。

○山根委員長	<p>説明のとおり、先の定例会の委員会で扱ったものだが、まだ市民</p>
--------	--------------------------------------

	<p>への影響について、本市の財政上の影響額、具体的な数値は把握できていない。県内各市町の足並みについては、先ほど説明したとおりである。引き続き実態を調査した上で、意見書を採択するかどうか、慎重に審議する必要があると思うが、皆さんの意見はいかがか。</p>
○新田委員	<p>近隣の市町で三次市・庄原市が提出しない状況が、事務局でわかるか。</p>
○山根委員長	<p>裏面の下に、三次市は6月に類似した意見書を提出していることから、今回の意見書の提出は見送ったというのが、説明となると思うが。</p>
○新田委員	<p>庄原市も、調べていれば教えていただきたい。</p>
○森岡事務局長	<p>庄原市は私が直接聞いたわけではないが、職員が確認を取ったところ、はなから議題のテーブルに上げていないという回答があったようである。</p>
○山本（数）委員	<p>やはり我々が危惧した固定資産税や償却資産の制度の延長は見送るような表現があったが、それが大きな原因なのか。市民の税負担が増えるじゃないかということを危惧して継続審査にしたと思うが、他市の出さないという決定になった大きな根拠は、我々が危惧してるところなのか、それとも違う視点があって出すのをやめたのか、そこらを把握していないか。</p>
○森岡事務局長	<p>三次市・庄原市は先ほどのとおりだが、その他、大竹市・東広島市の出さないという理由について、確認はしていない。中身についてどういった協議の中で結果こうなったかは把握していない。</p>
○山本（数）委員	<p>検討材料として他市が意見書を出した理由は、相当の市が出しているし、出さないと決めた市もあるし、判断するとすればこの制度をやめたら税負担が増えるからじゃないかと思う。そういう意味じゃ、出さないのがいいのではないかと思ったりもするが、やはり思い違いがあったりもあるので、出さないと決めた状況の把握もしておいてもらって、次の検討材料にしてもらえればと思うのだが。</p>
○山根委員長	<p>他市が出さないというのは、三次市は裏に書いてあるとおり類似したものを6月に出している。庄原市については、もともと取上げていないので。それと大竹市・東広島市については、聞くことも可能ではあるかと思うが、まず、本市の財政上の影響額、これを具体的な数値を把握してからという前回の意見が強かったと思う。今回他市町の理由についてプラスして、慎重な審議を求められているのではないかと思うが、他に発言があるか。</p>
○南澤委員	<p>当市の財政における影響額について、次に判断をすると12月議会になると思うが、それまでに影響額を出すことは可能か。</p>
○山根委員長	<p>前回より事務局に求めているが可能か。</p>
○森岡事務局長	<p>定例会前までに検討資料として出すことは可能だと思う。</p>
○南澤委員	<p>お願いします。</p>

○山根委員長	ほかに意見はあるか。
○武岡副委員長	話を聞くと、市民への影響額等の具体的なものが出てないと、判断がつかないのではないかと思う。そういった状況の中で、12月の定例会までには、具体的な数値も把握することが可能だと言われたので、12月定例会の会期中に改めて審査をするということで、この件については、また継続審査ということで、12月の定例会の会期中に改めて審査をするようにしたらどうかと思う。
○山根委員長	<p>継続審査を求める声があるので、お諮りしてよろしいか。</p> <p>それでは「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について」の件を、継続審査とすることに賛成の諸君の起立を求める。</p> <p>(起立多数) ※全員起立</p> <p>起立多数と認め、本件は継続審査とすることに決定した。</p> <p>以上で、「コロナ禍による厳しい財政状況に際し地方税財源の充実を求める意見書の提出について」の審査を終わる。</p>
<b>所管事務調査【教育委員会関係】</b>	
<b>(1) 生涯学習施設に関すること</b>	
○山根委員長	<p>次に所管事務調査を行う。</p> <p>「生涯学習施設に関すること」を議題とする。事務局に説明を求める。</p>
○森岡事務局長	<p>本調査は、先般の9月定例会の最終日に、閉会中の継続調査申出書により、総務文教常任委員会として20項目の閉会中の継続調査事項を挙げていた。その中の一つとして、「生涯学習施設に関すること」について、本日の調査を行うものである。</p> <p>本日の調査は、先般の新聞報道で八千代の丘美術館の休館にかかる経緯、どういったことで休館に至ったかという調査が必要と、委員の皆さんに協議会の中で決めていただいた。そして本日の所管事務調査となった。</p> <p>加えて、その後八千代 B&amp;G 海洋センターの改修の補助金の件も新聞で報道が出され、これも一緒に調査をしようとの確認の中で、本日の調査となったわけである。</p> <p>本日の調査にあたって、事前に執行部に協議をし、資料の提出と当日の委員会の説明を求めていたが、閉会中の継続調査事項の申出の文言について、中身が明確でないところがあるという指摘を受け、何回かその件について執行部と協議を行ってきたが、合意に達しなかったため、本日は出席を求めることができなかつたし、資料も求めることが出来なかつたという状況である。</p>
○山根委員長	<p>暫時休憩とする。</p> <p><b>【暫時休憩 13:48~14:59】</b></p>
○山根委員長	休憩を閉じて再開する。

	<p>会議時間も1時間半経ったので、3時15分まで休憩とする。</p> <p><b>【暫時休憩 14:59~15:20】</b></p>
○山根委員長	<p>休憩を閉じて再開する。</p> <p>今回11月5日15時30分に委員長と議長、事務局長も含めて、閉会中の所管事務調査について、市長に11月10日開催日として考えていると出席要請をした。しかしながら、市長は特定事件としては適当ではない正しい手続をとって進められるべきだということで、今回、執行部としては受けかねると、今日のこの常任委員会へ出席しなかった。</p> <p>しかしながら常任委員会としては、今回コロナ禍の中感染者数が少なくなり第6波到来の恐れがあるものの、今後は感染防止策を講じながら美術館の利用が見込まれるにもかかわらず、休館の報道が市民に対する説明もなく10月13日に行われた。休館決定について、早急に当委員会として調査する必要がある。さらに、八千代B&amp;G海洋センターについては、改修助成について難色を示し助成の辞退も示唆されている市長が、11月中旬にB&amp;G財団と協議するのが11月15日と聞いている。</p> <p>もう差し迫っている。これについては早急に関係者、また市民の方々に対する説明を求めたいと思い、当委員会は改修及びその助成に関する調査を行う必要があるということ根拠として、市長以下執行部に出席を要請したものである。残念ながら、今回この常任委員会への出席はかなわなかった。市長と議会の閉会中の継続調査について、解釈が平行線をたどってきている。</p> <p>今後については、12月定例会にしっかりと調査を行い、市長に説明を求めるところである。今回は、閉会中の継続調査によって、市長の説明を求めたが、今こういう事態になり、市長は出席せず、市民に説明しなかった。議会としての調査権を発揮できる機会が出来なかったことを、今後については議会運営委員会にも本日上がっているので、全員協議会において協議をしながら考えていくことになると思う。</p> <p>では資料請求があれば、意見を伺いたいと思う。</p>
○山本（数）委員	<p>今日の総務文教常任委員会は、八千代 B&amp;G 海洋センターの改修と、八千代の丘美術館の休館の経緯を聞かせてもらうつもりで参加してきたのだが、結果的には議会の考え方と解釈が若干違う関係で市長が出席されず、話が聞けないという結果になったと思う。</p> <p>そのことを議会として市民に訴えていく上で、今日の申入れとその結果について、公表すべきだと思う。というのは、議会は何か聞いているのではないか、どうなってるんだと市民から意見を聞かれ、今、申入れをしてるからちょっと待ってくれと返事をしている。その辺が聞けなかったから、今日の委員会を開催したことと、市長</p>

	<p>からそれは聞けなかったということを公表していただきたいと思う。</p>
○山根委員長	<p>ほかに意見はないか。</p>
○南澤委員	<p>今日この場に執行部は来てないのは、閉会中の所管事務調査の特定案件に当たらないということだと思うが、開会中であればこの件は調査できていると思う。</p> <p>今、山本(数)委員が言われたことは閉会中でできなかったが、12月議会の開会中にしっかり調査をしなければいけないし、報告する義務が我々にあると認識している。</p> <p>委員会として理由もそうだが、例えば八千代の丘美術館などは休館という指針でこの先どうしていくか、どう活用していくかの調査・可能性を探っていく場も必要ではないかと感じており、引き続きこの場で協議したり、執行部に資料を出してもらわなければいけない。</p>
○山根委員長	<p>ほかに意見はないか。</p>
○山本(優)委員	<p>八千代 B&amp;G 海洋センターと八千代の丘美術館については説明もなく今まできたわけだが、八千代 B&amp;G 海洋センターの補助金申請から補助金決定、それから辞退要請や辞退の説明、11月15日までのいろいろな辞退に至る経過について、詳細な報告を求めていただきたい。</p> <p>もう1点八千代の丘美術館については、資料請求に書いてあるが、寄贈作品が約270点ある。それと、あそこは借地も結構あるので、地権者の問題もある。当初は、廃止という話から始まって、休館という話に落ち着いているが、それを廃止・休館決定の経過、それから今後これをどうするのかということについて情報を求めたい。</p> <p>八千代の丘美術館は20年経っているが、国の補助金を受けているし、休館になれば15棟ある建物と本館などの維持管理はどうなるのか。その辺の考え方についても、計画があれば説明をしていただきたい。</p>
○新田委員	<p>先ほど山本優議員からもあったが、私もこの八千代の丘美術館については、直接関係者から連絡いただき、憤る思いを伺った。歴史があり自分たちの作品も置き、また様々な方に見ていただいて、寄贈作品がどうなっていくんだろうかと。元の方に連絡が果たして取れるんだろうか。その思いが市はわかってくれてるんだろうかと。地域や関係者に対して説明がなかったということが、非常に残念だということを強く言われたのでこの場を借りて、一言申し上げた。</p> <p>本日市長が来なかったことは、非常に残念に思っている。特に八千代 B&amp;G 海洋センターについては、一体どうなるんだろうと不安を抱えている方が、市民の中にたくさんいる。直接連絡や話もさせてもらうが何もわからない、新聞に載ったことしかわからないということしか議員として説明できなかったというのが非常に私は残</p>

	<p>念に思った。しっかり文書なりで、きちっと回答だけは出していた            だきたいと願います。</p>
○山根委員長	<p>ほかにはよろしいか。</p> <p>では次に資料請求について、請求したいものがあれば発言をお願い            します。</p>
○南澤委員	<p>まず八千代 B&amp;G 海洋センターについて、教育施設としての利用            状況の実際のところをまず 1 点。それから市民の利用率で、利用者            の総数から市内の方がどれくらいなのか。逆を裏返せば市外がどれ            くらいなのかという数字が出るかと思うが、それを出してもらいた            い。また 10 月 20 日の議事録にもあるが、コストだけではなく収入            も収支合わせて数字を出してもらいたい。</p> <p>続いて、八千代の丘美術館である。まず集客数。コロナ前から含            めて集客数を知りたい。入場料は大人 300 円払って入場した方はカ            ウントできると思うが、イベントは無料で行われており、企画展と            か無料のところも人数が把握できるようなら、そこもあわせて教え            てもらいたい。コロナ前から把握したいので、できれば 5 年分ぐら            いいただきたい。</p> <p>あとは入館作家のワークショップ実績というのがあるが、合わせ            て出張事業のどちらかを行うという規約になっている。その実績を            いただきたい。</p> <p>4 点目のコストだが、人件費以外も水道光熱費、地代、それから            作品運搬経費、イベントに関する経費、そういったところもかかっ            ているはずなので、そちらの費目別の経費、それから収入もあわせ            て教えていただきたいと思っている。</p> <p>続いて、先ほど山本優議員からもあったが、補助金を得て作られ            た建物だと認識をしている。どのような補助金の補助を受けてい            て、今後活用していく上で形態を変えるとするならば、どのような            制限・制約があるのか資料を求める。</p>
○武岡副委員長	<p>B&amp;G については、今の八千代に限らず、美土里・高宮についても            あわせて、同様の資料を提出してもらいたい。</p>
○先川委員	<p>B&amp;G 海洋センターが安芸高田市に 3 館あるが、今後 B&amp;G 施設を            市全体としてどう考えているかを聞きたい。</p> <p>八千代の丘美術館だが、広島市と広域連携を今までやってきてい            るが、広島市との協議はどうなっているのか。協議もなく単独で休            館なのか。</p>
○山根委員長	<p>今回は閉会中の継続調査について、御意見を伺った。</p> <p>本日、皆さんからの資料請求については、委員長でまとめ、議長            を通して、執行部に請求をする。</p> <p>暫時休憩をする。</p>
	<p><b>【暫時休憩 15 : 39～15 : 47】</b></p>



○山根委員長

休憩を閉じて再開する。

資料請求だが、皆さんに確認しなくてはならない。

B&G 海洋センターは美土里・高宮も同様の資料請求をしてほしいということ、今後についてどのように考えているのか聞きたい。あとプールなど教育施設としての利用状況、市内外合わせて利用者の確認をしたい。そして収支の状況についての確認をしたいとのことであったと思う。

八千代の丘美術館については、できて 20 年であり、国の補助金について、また今後について説明していただきたい。寄贈作品 270 点の現在の取扱いだけでなく、今後についての取扱いを確認したい。地権者もおり、休館の経過を説明していただきたい。八千代の丘美術館の過去 5 年分の集客数、そして、イベントでの集客数についても確認したい。

あと、入館作家の出張授業日数などの実績を知りたい。また費目別経費について。さらには、国の補助の種類と今後について、制約があるかということ。それから広島市との広域連携でこれまでやっている中で、どのように考えているのか、また、使途の話をしているのかであったと思うが以上でよろしいか。

(意見なし)

それでは、今回皆様から頂いた資料請求の意見について、議長を通して執行部に資料請求を行う。また意見についても、まとめて議長を通し、執行部に届ける。

以上このことについて異議はないか。

(異議なし)

異議なしと認め、そのように取り計らう。

以上で、生涯学習施設に関することを終了する。

本日の議事は全て終了した。

以上で本日の委員会を閉会する。お疲れ様でした。

【閉会 15 : 52】

安芸高田市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名する。

安芸高田市議会 総務文教常任委員長